

「第3回ボーダフォン モバイル・エコ・スクール2005」 京都市立堀川高等学校まったりチームがグランプリに！

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:ビル・モロー)は11月21日(月)、「第3回ボーダフォン モバイル・エコ・スクール2005」の最終審査および表彰式を、日本科学未来館(東京都江東区)においてとり行いました。審査の結果、京都市立堀川高等学校(研究タイトル:紫外線と光化学スモッグとの関連性の調査 紫外線測定器、光化学オキシダント・窒素酸化物の濃度測定器の開発-)がグランプリチームに選ばれました。

グランプリチームは、携帯電話のカメラ機能を使った、高い精度の紫外線測定器と、簡易分光光度計の2種類の開発に成功し、紫外線強度を正確に測定できる装置を発表しました。この装置は、携帯電話を使って、光化学スモッグなどの日常生活の環境対策における多くの研究にも応用できる装置であり、本格的な環境についての研究に利用できる点が高く評価されました。

また、シルバー賞には群馬県立勢多農林高等学校理科部チーム(研究タイトル:昆虫行動(光走性)から夜間の光環境を考える(TVコール機能を使った自然環境調査))、ブロンズ賞には国立沖縄工業高等専門学校うな〜んちゅチーム(研究タイトル:航空機の離発着による騒音調査)が選ばれました。

今回審査委員を務めた、当社専務執行役プロダクト・サービス開発本部長の太田洋は、総評として次のように述べています。「最終選抜6チームの研究発表内容は、どれもたいへん高度なもので甲乙つけがたく、審査は難航しました。プロダクト・サービス開発責任者としては、ケータイをITツールとしてどう応用し、活用するのかに注目してみたのですが、特に興味深かったのが、ケータイをデータ収集の目的で活用する事例でした。カメラを使いこなすのはもとより、TVコール(テレビ電話機能)を利用しリアルタイムでデータのやりとりをする、また音をメールで送り解析する、さらにインターネットサービスを利用してデータを収集する、どれもケータイの利用価値を高める活用法だと感心しました。今後あらゆる分野でケータイがサポートできる可能性の高さを再認識し、社会貢献にもつなげていきたいとあらためて決意しました」

「ボーダフォン モバイル・エコ・スクール」は、青少年育成をはじめ、ボーダフォンが取り組む社会責任を果たす一環としての活動で、今年で3回目となります。ボーダフォンが提供する最新の携帯電話を使用し、同じ学校内の生徒と教師でチームを作り、自然、科学、環境をテーマにした自由研究を行う、高校生を対象にしたプログラムです。今年の「第3回ボーダフォン モバイル・エコ・スクール2005」は、全国から57校、74チームの参加があり、過去最多の参加校数、参加チーム数となりました。

グランプリチームの京都市立堀川高等学校には賞金20万円と、イギリス研修旅行が贈られます。チーム全員で参加する来年1月の研修旅行では、現地の高校生との交流や国立自然史博物館の訪問など、環境に対する世界的見聞を深めるプログラムが計画されています。

各校の研究内容の概要および審査委員会メンバーは、別紙をご覧ください。

以上

- モバイルエコスクール、TVコールは、ボーダフォン株式会社の登録商標または商標です。
- Vodafone(ボーダフォン)は、Vodafone Group Plcの登録商標です。

< 各校の研究内容の概要 >

学校名	研究タイトル	概要
宮城県立田尻高等学校 環境科学部チーム	生態地域圏(エコ・リージョン)における「田んぼの生きもの多地点同時調査」	冬でも水を張る「ふゆみず田んぼ」の優位性を検証。田んぼの生き物調査情報センターを設置し、生き物の鑑定調査や農家への営農指導につなげる。
国立沖縄工業高等学校 うちな～んちゅチーム	航空機の離発着による騒音調査	航空機からの騒音を携帯電話で調査し、メールにデータファイルを添付してサーバーに送り、騒音を分析する。Webページへのリアルタイムの掲載や、各地の騒音問題の改善につなげる。
京都市立堀川高等学校 まったりチーム	紫外線と光化学スモッグとの関連性の調査 紫外線測定器、光化学オキシダント・窒素酸化物の濃度測定器の開発	携帯電話のカメラ機能を使い、紫外線や二酸化窒素、オキシダントを手軽に測定する安価な紫外線測定器と比色測定器の開発を行ない、環境汚染を調査。
群馬県立勢多農林高等学校 理科部チーム	昆虫行動(光走性)から夜間の光環境を考える(TVコール機能を使った自然環境調査)	TVコール機能を使い、夜間同時刻に光に集まる蛾の量と種類の差異を比較検討して、夜間の光環境の健全性を評価。
山口県立厚狭高等学校 生物部Keep美白!チーム	携帯電話を利用した簡易紫外線測定法の確立と生物の紫外線対策に関する研究	携帯電話のカメラ機能を利用し、紫外線量の測定を検証して、標高や水深の違いと紫外線強度との相関や生物が紫外線に対して講じている対策を調査。
京都府立桃山高等学校 桃花チーム	夏の京都に発生する積乱雲	携帯電話を使って、積乱雲の変化を発生からウォッチし、その移動経路や大きさ、成長過程などを調査。

< 審査委員会 >

審査委員長	斎藤 信男(さいとう・のぶお)	慶應義塾大学 環境情報学部 教授 工学博士
審査委員	鈴木 幹夫(すずき・みきお)	社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事
	中山 雄一(なかやま・ゆういち)	日本理化学協会 事務局長
	太田 洋(おおた・ひろし)	ボーダフォン株式会社 専務執行役 プロダクト・サービス開発本部長
	浅野 泰光(あさの・やすみつ)	ボーダフォン株式会社 法務・渉外本部 法務部 知的財産グループ 課長
特別審査委員	毛利 衛(もうり・まもる)	日本科学未来館 館長 宇宙飛行士